

開館40周年 生誕祭！

大正ロマン・昭和モダンのカリスマ絵師

# 高島華宵が 伝えてくれたこと

①〈華宵御殿〉にて寝室の前でファンレターを読む華宵 1927年

写真の寝室入口を  
フォトスポットで再現します！

2024年 7月6日 Sat. → 9月22日 Sun.

弥生美術館



# 大正ロマン&昭和モダンの世界へようこそ

**大**正末から昭和初期にかけ、絶大な人気を誇ったイラストレーター・高島華宵(たかばたけ かしょう、1888-1966)。少年の日に華宵の絵に感銘を受けた一ファンの熱い想いは、私財を投じての美術館設立まで至りました。

今年、開館40周年を迎えた弥生美術館。明治・大正・昭和の挿絵や出版文化から現代のイラスト・漫画まで——。華宵先生が出会わせてくれた素晴らしい世界、そしてカリスマ・高島華宵に、いま再び会いに行きましょう。

② (華宵御殿)の舶来のインテリアに囲まれた居間にて 昭和3(1928)年春



私は少年少女が、人生のうちで一番美しいものと思っている。



④ 「馬賊の唄」『日本少年』昭和4(1929)年2月号 高島華宵/画



③ 「(仮) 出番を待つ」便箋表紙 大正末〜昭和初期 高島華宵/画



⑥ 「雨中の銃声」『日本少年』昭和5(1930)年6月号口絵 高島華宵/画



⑤ 華宵画譜より「人魚」『少女画報』口絵 大正末〜昭和初期 高島華宵/画

私の好むのは、人間としての女ではなくて、美の所有者として婦人です。

⑬ 「(仮) ニューファッション」初出不詳 大正末〜昭和初期 高島華宵/画



## 華宵先生の教へ

- その1 着物にアクセサリやハイヒールを合わせたり、和装と洋装をミックスした、新時代のスタイルを提案。常識にとらわれない自由なセンスで読者を魅了し、一世を風靡しました。
- その2 性別にとらわれない、ジェンダーレスな美しさを愛する。
- その3 好きなことを貫く心。

## ★展覧会のみどころ★

- 🌸 華宵が美少年の弟子と暮らした〈華宵御殿〉の寝室の雰囲気再現。当時の少年少女を虜にした、ミステリアスかつジェンダーレスな私生活に迫ります。写真撮影OK！
- 🌸 ファン心理が高じて自宅に美術館を建ててしまった〈究極の押し活〉ともいえる弥生美術館創設。その40年のヒストリーを、歴代学芸員の談話を交えながらご紹介します。
- 🌸 華宵を発端として、さまざまなご縁が結ばれました。寄贈作品も多数よせられました。伊藤彦造、落谷虹児、中原淳一ら、当館の選りすぐりの収蔵作品を展示します。
- 🌸 〈好きな高島華宵作品 TOP10〉大調査を行います。集計結果を2週間ごとに更新し、ランキング順に展示します。オンラインでの参加も受け付けます。

私はすべてのご婦人方に対して  
それぞれの美しさを見逃しはいたしません。



⑦「(仮) ダンス」華宵便箋表紙絵 大正末～昭和初期 日出づる国社 高島華宵／画



⑨「ビクター」広告絵 昭和2(1927)年 高島華宵／画

⑧「(仮) なかよし」『少女画報』昭和3(1928)年3月号表紙 高島華宵／画



⑩〔鎌倉華宵御殿〕にて華宵と14歳の弟子。1937(昭和2)年

## 開館40周年！

弥生美術館は2024年6月1日に開館40周年を迎えました。高島華宵を軸とし、明治・大正・昭和の挿絵画家や出版美術を調査・研究し、近年では挿絵文化の流れを汲む、ふろくや漫画などにも早くから注目して参りました。

そもそも当館が設立されたのは、初代理事長・鹿野琢見(かの・たくみ)が少年時代に熱烈な華宵ファンであったといういきさつがあります。1965年に華宵と出会ったことで、鹿野は私費を投じて自宅敷地内に美術館を設立しました。当館は鹿野の熱い思いを受け継いでいます。



⑪華宵(左)と鹿野(右) 鹿野は明石の養老院から華宵を東京の自宅にひきとり、最期を看取った。

大正15(1926)年春



たかばたけ かしょう

## 高畠華宵

明治21(1888)-昭和41(1966)年

明治21(1888)年、愛媛県宇和島町(現・宇和島市)に商家の次男として生れる。商売には興味を示さず、画家を志して14歳で上阪。日本画家・平井直水に師事する。

15歳で京都市美術工芸学校(現・京都市立芸術大学) 絵画科に入学。20歳で本格的に上京し、雅号を「華宵」とする。

明治44(1911)年、23歳の時、津村順天堂の「中将湯」の広告絵を描き画家としてのチャンスをつかむ。

大正2年(1913)年、講談社の『講談倶楽部』に挿絵を描きはじめてのを皮切りに、『少年倶楽部』『少女画報』『日本少年』『主婦の友』など、多種多様な雑誌に挿絵を描き大正～昭和初期の出版界を席卷する。

昭和6(1931)年以降は挿絵の仕事が減らし、日本画制作に励む。

戦後は子ども向けの絵本や単行本を手がける。

昭和39(1964)年、明石の明石愛老園に入園。その後、雑誌の記事をきっかけに、かつてのファンであった東京在住の弁護士鹿野琢見と親交を持つ。

昭和41(1966)年、鹿野の招きで上京中、東京にて没す。享年78。

### ◆ ギャラリートークのお知らせ ◆

7/27(土)、8/10(土)、9/7(土)

いずれも午後2時～ 約40分

(事前申込不要・要入館料)



★その他イベントも開催予定!★

\*詳細が決まり次第、美術館ホームページでお知らせいたします。

### 【同時開催】

## 日本出版美術家連盟(JPAL)の作家展

1期 小宮山逢邦展(7/6～7/28)

2期 小松崎茂展(7/30～9/1)

3期 加藤敏郎展(9/3～9/22)

\*弥生美術館3F会場・入場無料

**館長が考案! カフェ「港や」のこれまでの〈展覧会特別メニュー〉を一挙公開。  
7月・8月・9月はリバイバルメニューを提供します。**

### ◆ 展覧会名称 開館40周年 生誕祭!

## 大正ロマン・昭和モダンのカリスマ絵師 高畠華宵が伝えてくれたこと

- ◆ 主催 弥生美術館
- ◆ 会場 弥生美術館 1・2階展示室
- ◆ 住所 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3
- ◆ TEL 03-3812-0012
- ◆ 会期 2024年7月6日(土)～9月22日(日)
- ◆ 休館日 月曜日〔ただし7月15日、8月12日、9月16日(月・祝)は開館〕、  
7月16日、8月13日、9月17日(火) 休館
- ◆ 開館時間 午前10時～午後5時(ご入館は4時30分までをお願いします)
- ◆ 交通 東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び南北線〈東大前駅〉よりいずれも徒歩7分  
JR上野駅公園口より徒歩20分
- ◆ 入館料 一般1000円/大・高生900円/中・小生500円  
※竹久夢二美術館と二館併せてご覧頂けます。
- ◆ ホームページ <https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>
- ◆ 出展作品 **展示総数約400点**

### ☎ 展覧会についてのお問い合わせは・・・

弥生美術館 学芸員 内田・外館(とだて)までお願い致します。

Tel/03-3812-0012 Fax/03-3812-0699

FAX 03-3812-0699

弥生美術館 とだて 外館 行

開館 40 周年 生誕祭！

大正ロマン・昭和モダンのカリスマ絵師



# 高畠華宵が伝えてくれたこと

## 写真使用申込書

写真送付日      月      日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望のものに○をご記入ください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	チラシ

※図版にはすべてキャプション表記をお願い致します。

※画像のデジタルデータの転用は禁止です。ご利用後は破棄していただきたくお願い致します。

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する
通信欄	

### 画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールに添付して画像データをお送りいたします。ご希望の場合は、この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお申し込みください。また美術館写真（外観／展示室）を必要とされる場合はご一報ください。

### 読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名分）を用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

### 掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3 弥生美術館 担当 とだて 外館宛